

会報

64 2019.9

題字 加登互川



総会風景

伊丹市芸術家協会 総会を開催

六月十五日（土）、東りいたみホール（伊丹市立文化会館）で平成三十一年度総会を開催いたしました。平成三十年度事業報告、決算報告ならびに平成三十一年度事業

計画、予算についての議案はすべて承認されました。

今後は十一月に伊丹市芸術家協会新人賞表彰式典、来年二月に伊丹市芸術家協会舞台・芸術事業、来年三月に伊丹市芸術家協会展を開催する予定です。会員の皆様のご参加・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第二十六回 伊丹・平和の 美術展を開催

八月十四日から十九日まで、東りいたみホール（伊丹市立文化会館）で第二十六回伊丹・平和の美術展を開催いたしました。本年も伊丹市国際・平和交流協会か



会場風景

ら後援をいただき、絵画や書、写真を六十九点展示し、三百四十四人にご来場いただきました。

伊丹市は一九九〇年の市制五十周年の節目に「平和都市」を宣言し、翌九十一年には市民の総意と総力で、荒牧バラ公園に「平和のモニュメント」を建設しました。九十三年、当時本協会の幹事

であった大泉米吉氏らが中心となり、賛同する市内の美術家の協力を得て、伊丹・平和の美術展が始まりました。自由な描写と表現のできる平穏な日常に感謝しながら、日本と世界の平和を願うという考えのもと、今回二十六回目を迎えました。

本展には、伊丹市芸術家協会・伊丹美術協会・ポプラの



会場風景

会・働美協会・祥彩会から絵画四十六点・書十四点・写真九点が出品され、うち本協会は十九点（絵画十二点・書四点・写真三点）でした。ご来場いただいた皆様には、日常の中で平和について考える機会となっていれば幸いです。

これからのこと

北里 桂一

今、スポーツの世界でも指導方法についていろいろと問題が出てきているのではないのでしょうか。それは勝つことに執着した教え方で、負けた人についてはどうしたらよいのか考えられていないのです。芸術の世界でも同じような現象が起こっております。

私の卒業した京都芸術大学の卒業生はその多くが教職につき、その傍らで創作活動をする生活を送っています。その多くは公募展に出品しますが、その結果に泣かされてきた人もいます。その経験から指導するという根本的なことを学ぶのです。私もそのような体験があり、授業で描かせた絵の優劣をどう決めたらよいのかで迷うことがありました。そのために、若い時にいろいろと無茶な発言をしていたのですが、ある時は美術の評価を全員七十点にして出そうとして、これはきつく叱られました。

今は芸術の世界でも優劣を決めることが普通のことになってきております。例えばピカソと伊藤若沖の優劣を

決めるようなことが起こっているのです。今でも頭の中に残っていることがあるのですが、娘の幼稚園の学芸会で桃太郎さんが十人も出てくるシーンがありました。希望者は全員なれるのだと説明を聞いて納得しました。それに對して現在の公募展の状況はどうでしょうか。まず出品者の多様性に驚かされます。先に述べたピカソと伊藤若沖の優劣を論じるようなことが起こっているのです。そして枠から外された人たちの不満が返ってきます。それは正誤で点数が出るような世界ではないからです。

今、伊丹市展でも点数制が採用されていますが、これは公平な判断の結果としては認められるところでしょうか、

入選した人と次点の人との作品の評価の違いを説明できるのでしょうか。ある市展では選外の人に全部講評をつけるという話を聞きました。選外になった人の「なぜ」という疑問を解消するためだとも聞きました。選外になった人の作品に何が足りなかったかを指摘し、指導することも大切だということです。これこそが本来の目的なのです。

そうなると出品したい人の作品は、そこで優劣を判断するのではなく、みんな並べることがあるべき姿かもしれません。問題解決の糸口がここにもあるのではないのでしょうか。出品したい人の作品は全部展示するのです。展示場所をどうするかの問題は別として。

由井勲さん・辛川徹也さんのこと

高石 良子

前伊丹市立美術館館長・現ビービープラザ美術館顧問の坂上義太郎さんに知らせていただき、四月に芸協の由井さんの家族葬に芸協の高野さんと参列し、最後のお別れをした。いろいろな思い出を由井さんと語ることができたようで、気持ちは爽やかであった。

由井さんとは三十年前に故鷺見先生の現代美術講座で知り合い、その後の伊丹現代美術BUTの会でも一緒に創作したり観賞に出かけたりし、アートだけではなくいろんなおしゃべりも楽しんだ仲間だった。メンバーでいろんな展覧会に出品し腕を磨く中、

最長老の由井さんは賞を次々受賞され、個展を何回も開催し、例会には作品をどんどん持つて来て、楽しみながらも素晴らしい作品を制作されていた。また手紙で作品を交換しながら世界に仲間を増やしていく

「メールアート」に積極的で、私達も刺激を受けていろんな国の人々と郵便で繋がること

とつだと感じさせてもらった。次第に会には来られなくなつたが、九十歳過ぎから行かれたデイサービスでは色鉛筆で黙々と絵を制作されて

いたという。自分でできることは自分ですするという意欲は九十七歳まで失われることなく、最期まで自宅で過ごしたという希望通りに逝かれ、娘さんとても立派な姿だっ



辛川さん遺作展案内



由井さん作品 高石蔵

たと言われていた。

昨年秋に亡くなった辛川さんの遺作展が五月にあり訪れた。辛川さんとは三十五年以上も前からの知り合いで、伊丹で絵を描く人なら誰でも辛川さんを知っているというほどの方だ。何といっても、絵を描いていると言うと親しみを込めた笑顔で話しかけてくださり、知識豊富な話題で周りを楽しくさせてくれる方だった。辛川さんの主宰するデッサン会に行つて、絵を愛する人々と知り合いになれたという方は百人以上いるのではないだろうか。長い間やつておられた。いつも前向きで、一緒にグループ展をやるうとか、面白い題材を見つけたとかお話しいただき、個展もいろんな所で精力的に開催

されていた。まだまだお元気で頑張ってくれる方だと甘えていたような気がし、とても残念な気持ちでいっぱいになった。今回ご家族の力で辛川さんの作品をたくさん見せていただき、辛川さんにお礼が言えた気がしている。お二人とも、ありがとうございました。

☆☆ 会員活動通信 ☆☆

(部門別 50 音順)

<邦楽>

菊葉真 うさぎ

新都山流尺八 阪神幹部会 演奏会
都山流尺八 大阪府支部 演奏会
都山流尺八 兵庫県支部第一地区 演奏会
邦楽さろん
朝日新聞社主催 各流派合同チャリティ演奏会

菊井箏楽社 50周年記念演奏会

西宮市プレラホール
メルパルクホール(大阪市淀川区)
兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター
箏三弦なかにし(西宮市)
NHK大阪ホール(大阪市中心部)

兵庫県立芸術文化センター(西宮市)

2019年

9月21日
9月22日
9月29日
10月 5日
11月23日

2020年

3月29日

菊良 ゆう子

都山流尺八 兵庫県支部第一地区 演奏会
“ことば蔵で風流を” 第16回邦楽演奏・舞踊・詩吟・歌

菊良ゆう子&ラ・コントル 箏こんさあと

兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター
図書館ことば蔵

伊丹アイフォニックホール

2019年

9月29日
10月 3日

2020年

2月22日

<絵画>

勝部 雅子

第37回京都新聞チャリティー美術作品展
兵庫県職員美術展<審査>
兵庫ふれあい美術展<審査>

西宮神社奉納「えびす絵馬」兵庫県日本画家連盟展

京都タカシマヤ(京都市)
兵庫県民会館(神戸市)
原田の森ギャラリー(神戸市)

兵庫県民会館(神戸市)

2019年

10月16日～21日
10月23日
12月25日

2020年

2月上旬

<書>

酒居 石荘

不華篆会習作展XXVII 伊丹展
不華篆会習作展XXVII 丹波展

工芸センター
兵庫県立丹波の森公苑(丹波市)

2019年

11月 2日～ 4日
12月 3日～15日

〔編集・発行〕伊丹市芸術家協会

〔事務局〕伊丹市文化振興課

〒664-8503 伊丹市千僧一丁目一番地

TEL 072-784-8043 FAX 072-784-8048

計 報

絵画部門の由井勲さんが平成三十一年四月に、洋楽部門の三宅康司さんが令和元年八月にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。